

チャレンジ ～挑戦～



信陵中学校 学校だより

令和 5年12月22日

第 8 号

文責：校長 青柳 茂宏

教育目標 『 自律・協働・挑戦 』



2学期終業式校長式辞より (一部抜粋)

「チャレンジ・挑戦」をし続け、自分の生活行動で自分を高めていくことを、なぜ皆さんに繰り返し話をしているのでしょうか。それには、常日頃から学校生活や行事等を通して「成長」あるいは「自立」していったほしいと強く願っているという理由があるからなのです。

私が考える「成長」や「自立」とは、「努力することの大切さを学び、失敗も経験に生かしながら目標を成し遂げたときの達成感を知ったことで、『自ら「気づき」、「考え判断」し、「行動」でできる力』が身に付き、『自分の目標（自分の思いや願い）の達成』に向けて迷いなく進んでいけるようになる」ということです。

また、目標達成のために仲間と力を合わせて取り組む中で、「人を思いやり、感謝の気持ちを忘



【落ち葉掃きボランティア活動より】

れないことや、人と上手く付き合う方法（コミュニケーション能力）などを身に付けることで、人からの信頼も高まり、まわりと力を合わせ、時には支えられ、これから待ち受けるたくさんの困難を乗り越えていけるようになる」ということにもつながっていきます。

明日からの冬休みとなりますが、「目標や目指すことをしっかり決めること」、「計画的に生活や学習を進めること」、「自分でできることは自分でやってみることを心掛けながら、自分の弱い心に打ち勝ち、自分自身をコントロールする力（自己マネジメント力）を高めると有意義な休みを過ごしてください。

「学校保健委員会」の開催より

12月4日（月）本校図書室において「学校保健委員会」を開催いたしました。参加者は学校職員、学校医、PTA代表で構成されており、「信陵中生の健康の実態」の報告や「健康課題の改善」に向けた話し合いを行いました。 ※詳しくは12/11に発行した「学校保健委員会だより」をご覧ください。

【報告事項】

○定期健康診断の結果

- ・本校生徒の体格 ⇒ 身長1年女子・3年男子、体重1年女子が全国平均を上回る
- ・肥満傾向生徒の推移 ⇒ 令和2年度をピークに男女とも改善傾向にある
- ・歯科健康診断結果 ⇒ むし歯なし73%、処置完了者16%、未処置者11%である
- ・本校生徒の視力 ⇒ 裸眼視力1.0未満が全国・県と同様に増加傾向である

○「心の授業」実施アンケートの結果 ※養護教諭が2年生の授業で実施

- ・問題が起こってから対処するのではなく、「こころの回復力・生活の中の対処能力を向上させ、安定を図る」ことが大切である

【グループ協議】

○最近の子供の様子と「心の健康」の関連等についての話し合いから

- ・「自分はダメだ」「人より劣っている」など、子供の「自己肯定感」の低さが話題になった。家庭の保護者も学校の教員も忙しすぎて、子供と話をじっくり向き合う時間が持てていないのではという実態も共有できた。特に、保護者自身も親としての「自己肯定感」が低いと感じているという貴重なご意見もあった。結果や数字などにこだわらず、取り組みの過程や他人と比べることなく、その子自身の成長を認めて、見守っていったことが大切との意見なども出された。



お知らせ「信陵中昭和54年度卒業生からの寄付金贈呈」

12月6日（水）、信陵中学校昭和54年度卒の代表4名の皆様から「還暦同窓会記念事業」の一環として本校にご寄付をいただきました。その際には「後輩たちの健やかな成長のために役立ててください」とのお言葉をいただきました。今回の寄付金に関しましては、生徒の学習活動の充実のために有効に活用させていただきたいと考えています。